

平成24年8月27日

# 平成24年度第2回いしのまき水辺の 緑のpromenade計画懇談会記録

いしのまき水辺の緑のpromenade計画  
懇談会事務局（石巻市建設部河川港湾室）

# 平成 24 年度 第 2 回 いしのまき水辺の緑のプロムナード計画

## 懇談会 記録

### 【会議概要】

開催日時： 平成 24 年 8 月 27 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

開催場所： 石巻市役所 4 F 庁議室

#### 《懇談会出席者》

会長	石巻市長	亀山	紘
副会長	東北学院大学 経営学部	教授	斎藤 善之
委員	石巻専修大学 経営学科	特任教授	清水 義春
委員	石巻千石船の会	会長	邊見 清二
委員	母なる北上川を愛する女性の会	会長	毛利 スミ子
オブザーバー	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所	所長	佐藤 克英
オブザーバー	宮城県東部地方振興事務所	所長	大内 仁
オブザーバー	宮城県東部土木事務所	所長	門 傳 淳
オブザーバー	宮城県石巻港湾事務所	所長	相澤 義光
事務局長	石巻市建設部 参事兼河川港湾室	室長	木村 博英
事務局員	石巻市建設部 河川港湾室	主査	千葉 教正
石巻市 建設部	部長	阿部 善弘	
石巻市 建設部	次長	木村 伸	
石巻市 建設部	河川港湾室	室長補佐	馬場 農利
石巻市 建設部	河川港湾室	主任主事	及川 英明

#### 《議 題》

(1) プロムナード計画見直しの概要（事務局）

- ・第 1 回懇談会の主な意見
- ・ルート、拠点の役割
- ・計画見直し案

(2) 意見交換

(3) その他

## 【議事録】

氏名	議事
事務局長	ただ今より、第 2 回いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会を開催いたします。はじめに、本懇談会の会長であります、亀山石巻市長よりご挨拶を申し上げます。
亀山会長	委員の皆様、お忙しいところ第 2 回懇談会にお集まり頂きましてありがとうございます。第 1 回目の懇談会では、震災を契機に集中的に実施される事となりました、河川・海岸堤防の整備、背後の土地利用の検討等を踏まえて、平成 23 年 2 月にこのプロムナード計画を策定したわけですが、こういった今回の大震災を踏まえて、見直しを図りながら実施の方法ならび前進したいという事で、皆さんからご意見を頂きました。 本日は、それらを踏まえて計画や概要について事務局から見直し案のたたき台が示されるようです。また今回の見直し計画策定の後には、具体的な整備に向けて行動していくことが必要ですので、我々としてもしっかりと取り組んでいきたいと思っております。 本日も限られた時間ではありますが、堤防を活かしたまちづくり、石巻らしい水辺の創造と賑わいの創出に向けて、委員、オブザーバーの皆様の活発な議論を期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局長	ありがとうございました。なお、本日ご出席の委員、オブザーバーの皆様のご紹介につきましては、お手元に配布いたしました配席図に変えさせていただきますので、ご了承頂きたいと思えます。 それでは、議事に入ります前に、お手元に配布いたしました資料の確認をさせていただきます。 (略) 当懇談会の設置要綱及び情報公開の運営要領について、参考にお手元に配布させて頂いております。 本日の懇談会の運営につきましても、情報公開の運営要領に基づきまして進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは議事に入って頂きますが、会議の進め方につきましては、本懇談会設置要綱第 6 条第 1 項の規定によりまして、会長が議長を務めることになっております。会長であります亀山市長にお願いしたいと思っております。
亀山議長	それでは議長を務めさせていただきます。早速、議事に入ります。今日の議題は 3 点ですが、まず 1 点目、プロムナード見直しの概要について事務局から説明をお願いします。
事務局長	<資料説明>
亀山議長	ありがとうございます。

	<p>それでは、事務局から説明がありましたプロムナード計画見直しの概要についてご意見を伺います。かなりボリュームがありますので、コースごとに伺います。コースというか、ルートですね。</p> <p>第1回の懇談会の主要意見については3ページ目にあります。ここは、よろしいでしょうか。こういった意見だったと思います。</p> <p>ルート拠点に期待される役割としては4ページ目にございます。ここで何かご意見ありますか。</p> <p>むしろ最初に、前回とこれまでの平成23年の2月にプロムナード計画の見直しについて図っているわけですが、5ページ目に見直しの案の概要があります。</p> <p>今まで①の雲雀野海岸を中心としたルートは、そのときには雲雀野埠頭の緑地帯も（拠点）Aに入っていましたけど、緑地帯については計画にはのっていますが、完成が見込めない、時間がかかるので、ここをむしろ大型客船誘致、客船からの観光客を①あるいは、Bのシンボル公園に誘導するという考えのようです。</p> <p>そしてさらに大きく変わっているのはDでしょうか。中瀬を石巻の歴史文化の伝承・学ぶ場にするという計画です。</p> <p>新規ルートとして不動町から石巻専修大学までのかなり長いルートですけども、新規ルートとして提案されております。</p> <p>この辺からご意見伺いたいと思います。いかがでしょう。</p> <p>ルートとしてはよろしいでしょうか。拠点はAがなくなり、拠点としてはBCDEFと…拠点Eは石井閘門のところですか。</p> <p>ご意見ありましたらお願いします。</p>
毛利委員	<p>前回も言ったのですが、Dの中瀬の扱い方ですが、中瀬に歴史文化を集約するという話ですが、どういう形で集約するのか。</p> <p>また、中瀬自体を子どもを遊ばせる場所として、かなりのお母さんたちが行っていた場所です。それを踏まえて一緒に整備されるのか。歴史をどのような形で、たとえば建物を作るのか等、どういう形でやっていくのかが見えないので。</p> <p>ある程度公園として残して欲しいと思うのですが。</p>
亀山議長	<p>あの公園をどうするというのが見えない中で、施設整備、石巻の歴史文化の伝承・学びをする施設整備をするというのは、ちょっと無理がありますね。</p> <p>拠点Dの方向性、中瀬の復旧をどうするのかというのが見えない中で、それを考えるのはなかなか難しいと思う。</p> <p>今言われましたとおり、子供が遊ぶ場所としての公園構想もあります。その辺も今回の見直し計画の中で、中瀬の方向性がひとつ見えないところがあります。</p> <p>それについて意見ありますか。</p>
事務局長	<p>委員のご指摘のとおり、中瀬につきまして具体的なものは見えないということでしたが、具体的な中瀬の公園の整備に関することはこれから検討されることとなります。</p> <p>ただ、プロムナード計画のなかでは、歴史文化、ということを申し上げました。今</p>

	<p>の時点では、例えばということでお返事申し上げるしかないんですけども、もともとここには造船の歴史もあれば、昔の人々の生活も有り、仕事もあったということで、たとえばある一角での昔の舟運を忍ばせるようなモニュメント、あるいは造船を体験できるようなスペース等、そういったものを何かここで見出せないか、と考えております。</p> <p>もちろん全体としては公園ですので、子供たちが集まってきて遊ぶようなスペースというの、公園の1つの機能の中には入っていると思いますので、今後の公園計画の中に含まれていくものと考えておりますが、そのなかでも、特にここに石巻の歴史、文化と産業を伝えられるものを、何か…古い建物を例えば移築するというのはちょっと大胆かもしれませんが、そういったことも含め、何とかここに残していきたいと考えています。</p>
亀山議長	<p>Dについては、まだまだこれからこの会でしっかり検討してきましょう。</p> <p>最初に、ルート①から入っていきます。ちょうど6ページに、拠点であるBと、ルート①との関係が記載してありますが、この地域については、ルート①については何かご意見ございますか。</p>
清水委員	<p>先ほど祈念公園と中瀬に歴史的なものを、ということがありました。</p> <p>公の施設を作るということですが、祈念公園や中瀬を含めた全体を壮大な博物館とみなすエコミュージアムという考え方があります。</p> <p>たとえば大震災のことや、石巻の歴史を一緒にしたような施設があるといいと思います。</p> <p>祈念公園はコア施設は震災の記憶を後世に伝える、中瀬はコア施設として石巻の歴史文化を伝承する・学ぶ、ということです。</p> <p>それぞれのコア施設や付随する展望台などのサテライトを結ぶルートディスカバリートレイルといいますが、多分①である、防潮堤がそういうルートになるということで、全体的にそういうイメージを持っています。</p> <p>もうひとつは、祈念公園の考え方なのですが、札幌にモエレ沼公園というところがあります。</p> <p>これはすごいところで100haほどあります。池の面積を含めると188haあります。札幌から出る瓦礫で公園を作り、そこに大きな2つの山を作りました。ひとつは、海拔62.4m、地表からだ50mの高さの山を作ったのです。これをモエレ山といい、もうひとつはプレイマウンテンと呼ばれる30mの山です。これも、札幌からでる不燃ごみでその山を作り上げたそうです。モエレ山は直径約70メートルで、とにかく非常に高い山です。</p> <p>築山という表現がありましたが、これだけ広い公園ですので、私はちょっとした山、30mだと散策がてら登れる山、モエレ沼公園の30mのほうの山は、片方は階段になっていて、片方は広いスロープになっていて、ふもとから頂上まで大体300mくらいです。</p> <p>もうひとつモエレ山の方は、階段や、いろんなルートで上っていきます。そうする</p>

	<p>と、平野を一望できる、札幌周辺では一番高い山になっています。</p> <p>というようなことで、私は、築山程度ではなくて、できれば30～50m くらいの山をあそこに作れたら面白いと思います。そうするとこれは、防潮丘にもなるし、なおかつ眺めもいいし、日和山に対してそういう山があると、話題性も出てくる。</p> <p>また、モエレ沼には非常に大きな水深 50 c m、直径 80m の水場があります。夏場にはこの水場で家族連れが遊ぶわけです。</p> <p>水道もちろんある、スポーツ施設も管理している、もっとすごいのはガラスのピラミッドがあつて、地下に冬場の雪をためる部屋があつて、夏にそれを利用して冷房にしている設備まである公園です。全国から年間 85 万人も訪れる公園です。</p> <p>同じ公園でも話題性もあり、なおかつ避難ルートにもなる、もし何かあったら山に登ればなんとか命が助かる、そういう形で考えていただければ、鎮魂という意味での、祈念公園に非常にいいのではと思っていました。</p> <p>それから、水上利用、水面利用なのですが、これは非常に大事なことだと思います。今、塩釜と松島にも若干小さい規模のマリーナがある。そこの船を収容できるくらいの規模にした方が、人が集まり、その地域が栄えるということになります。</p> <p>それを踏まえて、6 ページ、7 ページについては考えてもらったほうがいいのではないかと思います。</p>
亀山議長	<p>祈念公園には 3 つの考えがあり、鎮魂、アーカイブ、感謝という三つの切り口で公園化を進めていますが、具体的な中身についてはまだ何も出ておりません。</p> <p>瓦礫で山を作るというのも提案していただきましたが、どうしても背後に日和山があります。海拔 60m のこの山の前に 60m の山を作るのは難しいですが、祈念公園の場合、ある程度かさあげするのは必要になってきます。</p> <p>①のルートは、防潮堤の構造が気になってきますが、構造について計画はありますか。</p>
事務局長	<p>現在、防潮堤については検討中と聞いております。まだ明確なところではありません。</p>
亀山議長	<p>ここでのルート①の役割はどのようなものになっていますか。</p>
事務局長	<p>ルート①としましては、最も海岸に沿ったルートであり、海岸の眺めを楽しみながら散策するということで考えております。</p> <p>今回新たに、防潮堤ができるということで、海岸の流れを確保するためにはちょっとした工夫が必要となります。背後に祈念公園ができますので、ルート①での散策、背後の祈念公園での集客と、連携して考えていきたいと考えてございます。</p>
亀山議長	<p>海岸の防潮ということからすれば、ルート①に持たせるのか、あるいは公園に例えば 20～30m の丘を作るというようなことであれば、公園の B に海岸の眺望の機能を持たせるということでもいいわけですね。</p>
事務局長	<p>そうですね。海を眺めるという機能はそちらに持たせてもいいと思います。</p>
邊見委員	<p>日和大橋を降りてきて、あの道路が高盛土構造になるのではないのですか。その海側の、ということですか。ルート①は。</p>

事務局長	私が把握している範囲では、ルート①にかかる道路は高盛土ではなく、防潮堤で守るということで、高盛土道路は祈念公園の北側になります。
邊見委員	この地区は高盛土道路一本だけ。
事務局長	海岸の防潮堤と、高盛土道路、2線で守る、ということです。
亀山議長	ルート①、拠点 B についてはなにかありますか。
邊見委員	<p>事務局から示された拠点の見直し、B、C、D、ルート②、⑥、③。これが今日の議題だと思うのですが、私は非常に評価している。</p> <p><b>B</b> の祈念公園については、今日懇談するテーマではないと思うので、別の次元や組織で公園の中身を議論、基本的な中身は事務局が整理してくれた項目で私はよろしいと思います。</p> <p>残念なのは、マリーナ機能は市立病院前の泊地を利用するということになると、あれだけの船を全部収容できるのか、不足する分はどこで保管するのか。</p> <p>市や事務局が別の方策を考えていると理解していますが、現状ですとマリーナ機能が手薄だと感じます。</p> <p>それから、石巻の公園、石巻らしさとは何なのかというと、川が見える、海が見える、そのロケーションから連想して石巻、とイメージされるのが石巻の魅力、らしさだと思っています。石巻市内では例を見ないこれだけの広大な公園になるので、みんなで知恵を出して、どんなふうにしたいのか、どんな風に作るのか、しっかり議論していきたいと考えております。</p>
斎藤委員	<p>前回の議論で出たことを踏まえながら、今回新たに出して頂いた見直し案ですが、私も基本的には良くできた、くらいになったのではないかと考えています。</p> <p>その理由としましては、震災後の状況を踏まえながら、特に防潮堤と川の堤防を整備される状況を踏まえながら、あらためて水辺のプロムナード、旧計画をどう活かすかということをうまく尊重しながら盛り込んで見直している。確かに骨格を活かすということも確かに活着しているのではないかと感じています。</p> <p>やはり公園計画について性格づけが重要で、まだよく見えていないが、祈念公園は大規模になりそうですし、いろんな国の施設ができるかもしれないイメージも持っています。それと、中瀬にできる公園とどうメリハリをつけて構想していくのがこのプロムナード計画の中では重要なのかなと思っています。やはり公園だからといって同じような性格で、人々が集う、ということだけではなくて、公園なりにそれぞれ機能・イメージをより明確にすることが大事なのではないかと。</p> <p>前回も言わせてもらったのですが、今回はそういったことも踏まえて、中瀬は歴史性を加味した公園設備で大変よいと思う。</p> <p>理由としましては、中瀬は、新しい計画の中では唯一水辺が見える場所で、高い堤防で囲まれていない唯一の空間なので、市民が集えるゆったりした公園ができるのかなと思いますが、それだけではなく、そのなかに点在する施設の中に、石巻が震災で失いつつある歴史や文化、景観などを、多少なりともここによみがえらせる形で、市民の記憶を、ここに行けば、石巻は昔こういう町だったねと思い出されてい</p>

	<p>くよくないくつかの手がかりとなるサイン、モニュメント、ミニミュージアムなど。前回も言ったのだが、できるだけ市民がここで活動しながら、ワークショップのように、歴史を語ったり、伝承したりというのを楽しみながらできる場であつたらいいと思っています。</p> <p>ガイドボランティアさんの集うスペース、ステーションを作って、萬画館もあるので観光客も来るし、市民が石巻とはこういう街なのだ、というのを、全国から来る人に案内できるように施設や機能があればいいのではと思います。そういうものを活かせるような良いプランになってきているのではないかと。</p> <p>住吉公園も踏み込んでいいと思う。いい場所なのであれをうまく活かして。前回の計画になかった日和山が今回入っていますが、イメージとしてまだ具体的になっていないが、TV等で全国から来る人が必ず訪れる聖地のような場所となっているので、日和山を水辺に近いビューポイントとして拠点計画の中には位置付けしておいてリンクさせていくことを将来的に考えていくという素案は、いいものになっていると思いました。</p>
亀山議長	中瀬の利用については、毛利委員から、市民の活動の場という活かし方がありました。それについて何か。
毛利委員	産業や歴史をどのように集約するかが見えなかった。ただ、私たちの会の意見の中で、住吉公園の巻石などを残して欲しいということが、今回の計画に盛り込まれているので、そういう歴史的なところも残しているの、いっぺんにそこに歴史をまとめて残すのではなくて、ある程度歴史を、ここはこうで、あそこはこうで、という分散で。湊側も昔は漁港でしたから、そういうところにも少し分散させてもいいんじゃないかなと。
亀山議長	そういうことからすると、湊側のルート③の活用がいまひとつ見えていない。どういった機能を持たせるのか見えていない。それについては何かありますか。
邊見委員	<p>関連でお尋ねしてよろしいですか。</p> <p>産業ゾーンというときに、移転を伴う業者さんを集約したいということですか。この地域に築堤計画の中で移転となって、移らなくてはならない工場とか、企業だとかの移転先として捉えればいいですか。</p>
事務局	はい、堤防にかかる人たちもそうですし、公園ですとか、ほかにも移転せざるを得ない人たちが、そこに産業として集約していただく、ということで考えております。
亀山議長	湊地区の堤防の構造も右岸側と同じですか。
事務局	そうです。基本的には左右対称になるということです。
亀山議長	<p>そうすると、ここにも要するにプロムナードの様な、散策路が、堤防の下に、川沿いにできるということでしょうか。</p> <p>昔の湊地区というと魚市場もあって非常に賑わった地域ですけれど、右岸側から見たときに、要するに、堤防というのは対岸を見るわけですね。そうした時に対岸が、私たちにとってはむしろ、景観としては非常に大事なかなと思います。そこには、堤防の構造、単に緑地だけでなく、昔のように石積みがあつたりとか、そういった</p>



	<p>構造のイメージがあると非常に景観としてはよくなるのではないかと思いますのですが、邊見さん、その辺はどうか。</p>
邊見委員	<p>ルート②とかの、事務局が示している、護岸のつくりが具体的にどこに何をやるか、貼り付けるかを考えながら、左右岸にこういった施設をちりばめるということになります。</p> <p>今までは内海橋の上流右岸側、住吉公園の下のほうで一部護岸の形を見てきたのですが、ああいったものが兩岸に連続していくイメージになると考えてよいと思っています。</p> <p>住吉公園は30ページのような形で、川に張り出しているようになると理解し、期待しています。</p>
亀山議長	<p>30ページのイメージ図、非常にいいですね。邊見さんが言われた石巻らしさが、出ている。川としては住吉公園のようなイメージになれば、市民の憩いの場となる。</p>
邊見委員	<p>石井閘門の河川敷、散策路も非常にいいですね。下流側の河川敷はグリーンを張っているが、市街地の河川ですから、テラスは石張りであったり、ウッドデッキだったり、モダンな散策路になるのだろうと楽しみに見えています。</p>
亀山議長	<p>これだけすばらしいイメージですと、浮棧橋から内港を、船が中瀬公園をぐるっとまわっていくような定期船があってもいいかと。それによって各拠点に船で繋いでいくというのもひとつの方法かと思いますが、どうですか。</p>
邊見委員	<p>いままでも何箇所か、北上川の兩岸や中瀬に船着場や浮棧橋がありました。</p> <p>固定式の棧橋もありましたが、残念ながら従来の施設はダメージを受けて使えない状況になっている。</p> <p>新しいものが、絵だけで終わるのではなく、近いうちに実現するとの思いをこめて非常に期待しています。どこに何を置くのかは、みんなで議論したいですね。</p>
毛利委員	<p>先ほど渡し舟の話が出ましたが、昔、私たちも、渡し船でばかりで歩いていたので。今まで湊側が少し置き去りにになっているので、湊側にも渡し舟が係留できるとか、そういう、湊側もすこし考えて欲しいです。</p> <p>堤防を作ることによって同じように親水的空間ができるのなら、湊側にも持ってきて欲しいです。そうすれば、それが拠点になって人が動ける、ということにもなると思います。</p>
亀山議長	<p>湊地区にももう少し賑わうような拠点を、ということですね。</p>
毛利委員	<p>今回新たに専修大学のほうに作られたルートは、そこはかえってサイクリングロードのようなものにして頂いて、マラソンコースに使うとか、使い分けのできる作り方をしてもらおうとよいかと思います。私たちの会のなかで、人が歩くところのすみ分けとしては、中腹にサイクリングロードがあればいい使い方ができるのではないかと。</p> <p>なぜかという、新しい堤防ができることに拒否反応をしめす方もたくさんいらっしゃいますので、そういう人たちにも、これならいいのではないかと、利用できるのではないかと、というところをもっと見せる様な作り方にすればいいと思います。全</p>

	<p>部でなくでもいいので、散策路に関しては、チップを利用して足にやさしいものがいい。</p> <p>中央商店街の人たちが今、街おこしをしている中で、街のなかに人を呼ぼう、その中でお年寄りも呼ぼうという計画があるそうなので、そういう人たちが、川べりを散策するときに、お年寄りの体にやさしいつくり方の散策路というのがいいかなと。サイクリングロードとのすみ分けをして頂きたい。</p> <p>今まで、川が見えていたまちが急に、川が見えなくなるまちになってしまうので、逆の発想で、それをいかに全国に売りにしていくのかも、石巻のこれからの発展のひとつの方向かと思いますので、この計画に関してはすごくいいと思います。</p> <p>さっきも言っていましたが、住吉公園や、中間に膨らませたり、住吉小学校のところのイメージもいいので、そういう拠点を、邊見さんがおっしゃっているように、どこにどう配置していくかということ、実現に向けた計画であってほしいです。</p>
亀山議長	<p>実現するためには、委員のみなさんの熱い思いが必要なので、よろしくお願ひします。その他何かありますか。</p>
邊見委員	<p>ルートのお話です。</p> <p>専修大学から、下流側左岸側のところのルート⑥が、今度の見直しの中で追加されました。</p> <p>右岸と左岸を比較したときになぜ左岸側はルート化されなかったのか。というお話がありましたが、そのとおりと思いました。兩岸整備することで川を中心に周回性というか周遊性と言いますか、兩岸、片側 10 キロくらいのサイクリングロードとか散策路など、大きな川の散歩道が出来る、この辺が今回の成果として考えられます。18 ページのルート③の連続植栽、並木などの空間創出。湊地区に貼り付けた拠点整備のひとつですが、この並木をどこから見るのだろうか、たぶん日和山の、中瀬が見える、孫兵衛さんの銅像あたりからみるとよろしいし、あるいは南側の神社のほうでしょうか、大鳥居の前の階段のあたりからみても、この辺が並木として整備されるといいロケーションになっていくのだろうと考えられます。</p> <p>できれば並木を兩岸に連続して緑の回廊を作ってほしいと思うのですが、現状では整備できそうなところはほとんどないです。この場所と、他に考えられるのは開北橋、上流は大学の敷地の中に桜並木が設置されていますが、開北橋から下流側、花火会場を打ち上げる左岸側の堤防あたりから真野川水門のあたり。あの堤防沿いであれば、腹付けして、しっかり幅を持たせることで緑化が可能ではないかと考えているのですが。ルート⑥のなかにも、部分的に連続並木ができそうです。</p> <p>緑化・景観づくりは時間のかかることなので、しっかりした計画で、息の長い実施計画を立てて具体化していかないといい景観はつukれない。欲しいという気持ちが一番だと思います。</p> <p>特にルート③については、都市河川の中の一角ですから、唯一可能な空間としてこの地域の植栽は実現すべきだと思います。</p>
亀山議長	<p>ありがとうございます。その連続植栽について、佐藤所長さん、どんなふうにお考</p>

	えですか。
佐藤所長	<p>19 ページの連続植栽のイメージですが、堤内側になんらかの土地があった場合に盛土をして木を植える。桜堤とかよくやっておりますので、こういった手法が考えられます。土地を充たす必要があるのです。公園等で占用して頂くという風になります。</p> <p>連続した土地が確保できればいいのですが、堤防敷地から三角状にはみ出る部分がありますので、残地を整形できればと思う。それを含めてよく連携を図ってどこまでできるかですね。</p> <p>構造上、土地さえあれば植栽は可能ですし、さらに、連続して土地がご協力いただければ、ありうるとは思うのですが、なかなか非常に限られた土地を譲ってもらう、堤防の敷地は少しでも狭い方がいいといわれているのに、さらに、と言われると、みなさんびっくりすると思います。</p> <p>ところどころ残地があるようなところに植えていくという方法はあります。</p>
亀山議長	<p>堤防を活かした街づくりをするというときに、何十年後かには、すばらしい堤防に、町並みになるのだということを考えれば、無駄だと思われるような空間でも、しっかり取っていくことが必要だと思います。</p> <p>私の方もプロムナード計画はこういうものだと、しっかり市民の方々に伝えて、理解を得て頂くというのが一番だと思います。</p>
邊見委員	<p>拠点Cといいますか、右岸側の中心市街地、内海橋に近いところですが、14 ページのなかにある、堤防と背後地の接続イメージ、堤防で遮断される視界を、建物の2階から目線を変えることで川上からの視界というようなことが書かれているのですが、石巻の地権者、土地所有者が自分の費用で、ということではつらいものがあります。</p> <p>川を向いた街づくり、川に向けた玄関をもつことがステータスで、石巻らしさということを見ると、行政も接続部分に対する事業支援をいっしょに考えてくれないと、実現・推進はしないだろうと思います。行政側の力強いバックアップがあつてのいい街づくりだと思います。</p>
佐藤所長	<p>拠点 C に関連して、13 ページ、14 ページなどいろいろなイメージ図があるが、私どもの河川敷地の占用に関する規制緩和についてという資料をご紹介させていただきます。</p> <p>平成 14 年に都市再生のための緊急措置ということで、特例的な具体的には平成 15 年度末から社会実験として、14 ページの京橋川のようなイメージで、河川沿いでオープンカフェをやりました。</p> <p>(以下、説明略)</p> <p>実際に許可が出るまでには日数を要しますので、事業自体が決まりましたら早め早めにご準備を頂いたらいいのかなと思います。14 ページの京橋川は非常によいオープンカフェのイメージです。規制緩和の流れでできるようになりましたので、全国</p>

	展開もしております。ぜひ旧北上川でもこういった議論が進んで、ものになればと思います。
亀山議長	平成 23 年度から、区域指定を行わずに全国でできるようになったのですか。
佐藤所長	全国 8 地区で限定的にやっていたのですが、これをどこでもできるようになりました。ただ決めるまでに時間がかかるので、しっかり議論するこういった場が必要です。
亀山議長	ありがとうございます。非常に夢が膨らみます。
佐藤所長	具体的に書いてありますね。オープンカフェや、船上食事施設など。
亀山議長	<p>河川堤防をいかに利用するか、というのが知恵の出どころになってきますね。先ほどの右岸の 1 1 番街区、1 4 番街区についても、先ほど行政がしっかりと支援していかないとというご意見でしたけれども、ここはかわまちづくりの拠点として、市としてしっかり対応していきたいと考えております。我々としては、できるだけ公設民営化ということで進めさせて頂こうと考えております。</p> <p>左岸側にも、今はマルシェという形で進めていますが、どれだけお客さんが来るのか、というのを議論しなければならないのですけど、湊側にもそういった施設が必要だといったご意見があれば頂きたいと思います。</p> <p>オブザーバーのみなさんから、なにかご意見ございませんでしょうか。</p>
門傳所長	<p>資料 24 ページを開いてください。</p> <p>時間別、目的別で見たときに、まちなかで 30 分をかけて歩くコース、1 時間のコース、自転車で 1 時間、2 時間をかけてじっくり回るコースなどといった目を見た場合、ルート⑤は北北上運河は突き当たりで止まってしまっているが、これをどういうふうに周遊性をもたせるかということです。</p> <p>石巻工業港のほうにつないでやればいいのですが、今回の計画になじまないとすれば、例えば北北上運河をルートの途中から水辺ではないですが、拠点 B などにつなげてやるようなルート設定も良いと思います。まちづくりの中で避難経路の計画が出てくると思うのですが。そのなかで、自転車が通りやすいような位置づけにして、旧北上川からぐるっと、運河、湊、B のほうに周遊できるルートの設定であるとか。これは水辺でないので馴染まないかもしれないが、点線表示でもいいですが、1 時間半の自転車コースなどを設定してみてもはどうでしょうか。</p> <p>そういった視点から見ると、ルート②とルート③のつながりはありますが、ルート④とルート⑥の道路の渡りが明確ではないです。開北橋をうまく利用するなどしてルーティングの位置づけを明確にしたほうが、計画としては整理されてくると思います。</p> <p>それから情報提供ですが、北北上運河の松のお話を前回もしました。全体で 1 7 5 5 本あるうち、6 3 2 本、3 6 %が立ち枯れしています。昨年度 3 7 8 本伐採で、残る 2 5 4 本も来月から伐採予定です。</p> <p>今のところカットすることしかないが、ルートの位置付けをし、景観性を高めていく場合には、新たな植栽も考えていければと思います。</p>

亀山議長	そんなに枯れているのですか。
門傳所長	約4割枯れている。海側の方がより枯れています。 当初は、木の2割くらいが傷んでいれば全体が枯れる、という専門家からの想定がありました。それが明確になりました。専門家の確認の上、危険ですので伐採することにしています。
亀山議長	我々は今、震災復興ということで北上川の堤防に目が向いているのですが、北北上運河の利用を図る上で、ここの整備というのは必要だと思いますが、そういった植栽の計画はないのでしょうか
門傳所長	今まであった松のような形で復元するのは、難しいと思います。 ただ、県全体の運河のなかで、桜を新たに植えていこうという動きもありますので、その中で一連のものとしての対応として出てくる可能性はあると思います。
亀山議長	震災以降、全国から桜を送りたいという意見がいっぱいあるのですが。そういった時には・・・なかなか難しいでしょうか。
門傳所長	可能性はあると思いますが、管理上の問題がいろいろあります。ただ今までもあった訳ですから、だめだということにはならないと思いますが。 それはこれからの位置づけ、考え方次第ですね。
亀山議長	大内さん、何かご意見ございますか。
大内所長	まちづくりでこれを作った後、どう利用するかという問題がございます。前回も意見があったみたいなのですが、市民への周知や、意見を聞くことなどが重要になってくると思います。
相澤所長	石巻港として、そもそもの発祥がこの中瀬あたりの内港が石巻港の元でございますが、現在、工業港の釜地区や、雲雀野地区の延伸により雲雀野埠頭に大きな船が入るということで、若干、中瀬の位置付けがうすい状況ですが、プロムナード計画と合わせて、内港の利用の仕方については、旧北上川の河川内ですので、北上下流さんと相談させて頂きながら、内港施設の復旧等について進めていきたい。 内港地区も港として利活用が進むような形でプロムナード計画を活かしていければと思います。
亀山議長	まだまだご意見があるかと思いますが、また後でも結構ですので事務局までご意見頂ければと思います。 今回の計画見直しの概要について、委員の皆様、ほぼ賛成いただけるのではと思いますので、今日のご意見をまた、次回までにまとめてもらいます。 プロムナード、石巻らしさ、中瀬の利用、ルート③の活かし方、ルート⑤の周遊性の持たせ方というような、ルートがしっかり、どこからでもというわけにはいかないですが、アクセスできる体制であることも必要だと思います。 計画の見直しについては、ご了解頂いたということで次に進めさせていただきます。 それでは次に、議事の2であります、プロムナードの工夫例について事務局お願いします。
事務局長	すみません。先ほどの中で説明させて頂きました。

<p>亀山議長</p>	<p>27～31 ページにプロムナードの工夫例が出ておりますが、この横断図、イメージ図を見て、何かご意見ございますか。</p>
<p>邊見委員</p>	<p>言うことのない、とてもいい、すばらしいデザインだと思います。      今まで無堤防地区で私たちは暮らしていたわけですが、築堤されるとどんな河川空間になるのか気がかりだったのですが。部分的にテラスのあるような川の風景は見ていたわけですが、背後地に堤防を重ねるとこんなふうになるんだ、ということがよく理解できました。本当に理想的な形で、1日も早く堤防も含めて実施してほしいなと強く国交省にお願いしたい。</p>
<p>佐藤所長</p>	<p>5 ヶ年ですので、将来に向けてあまり手戻りがないように調整したい。      ここに挙げている写真は、実績があるから許可できるという案なので非常にわかりやすい。逆にこういうのが世の中にあるのですから、北上川でも出来るのですよね、といわれ、我々はこういう事例を調べた上できちんと管理できるということがわかれば占用許可をしていくようになります。イメージを突きつけて頂く方が議論がしやすくいいと思います。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>賛成であるが、その上でいくつか検討して頂ければというところがあります。      16 ページの拠点Dの中瀬の公園イメージですが、中瀬に内海橋のところにもたまたま橋がかけられていますが、これはゆくゆくはどうなるのでしょうか。歩道橋として整備していくのかなどのイメージがまだない。      上流に1本車道の橋が斜めに架橋されるようですが、この辺との兼ね合いでどういったものが作られるのかということと、もうひとつは中瀬の下流側にも橋があります。      もしこの橋が実現されるとなると、左岸側の整備された並木に渡ってぐるっと回遊できる、人の動きや交流が生まれそうなイメージが出てきます。      その場合、歩道橋として整備するのか、車が通行できるようなものなのか。      もし歩道橋として整備するのであれば、無味乾燥な橋よりは昔っぽいイメージの橋にして頂けると楽しいのかなと思います。      内海橋の昔の形状の写真などもありますので、そういったものもイメージしながら、歴史性を出すのもいいと思います。      サイン整備に関して、この部分は市民参加が可能です。      実は古い計画の中でもある程度やって、サインの文書まで出来て、いよいよ掲示しようという段階で被災にあったので。      あれをもう一度、市民にも働きかけながら、直すところは修正しつつ、もう一度。今回見直し案が決まると、継承ということで、かつてみなさんで検討した市民参加のサイン整備プロジェクトをもう一度できればと私は希望しています。      この計画の中で見えてきていない部分としては、祈念公園のところにかつてあった、文化センターを市としてはどうするのか、今後の公園計画のなかで関係してくるのかなと思います。      祈念公園の中に文化センターはいまのところ書かれていないので、市長さんのお考</p>

	えがありましたら聞かせて頂きながら、そのあたりをどう位置づけていくのか、祈念公園の中に位置づけるのか、中瀬の方にその機能を持っていくのか。
亀山議長	市民センターは、文化センターも含めて複合施設として別の場所に建設を考えています。今後、文化センターと市民会館を複合施設として建設するという事で計画中です。 今の場所にある市立病院、文化センターは解体することになります。 中瀬公園については、南側の橋は、計画では歩道を考えています。 上の方は国道 398 号の橋になりますが、計画の段階です。 今ある内海橋は、歩道橋になると考えています。
佐藤所長	新しい内海橋が別のルートに架かる場合は、今の橋は撤去となります。 撤去した場所に新しい歩道橋を架けたいということであれば、それも考えられると思うのですが。
亀山議長	撤去になるのですか。 せっかくあるものを歩道に活かしておくことはできないのですか。 橋を架け替える、ということですから、本質的には現在地の橋は撤去、ということになるのでしょうか。
毛利委員	現在の内海橋は、街場から中瀬に行きやすい場所ですよ。それがなくなると……。新たに歩道はできないのですか。
門傳所長	国道 398 号の位置付けですので、災害復旧事業としては、上流側に新しい橋を掛けて、現在の橋は撤去、ということになります。 ただ、上流に架けることで中瀬にいけなくなるので、T字路の形にして、中瀬に連絡するところまでは考えたい、という計画案があります。それは今調整中で、これは災害復旧事業です。 まちづくり計画として、現況位置に歩道機能だけは残したほうがいいのかという議論は、今、市さんのほうでなされています。 それはおそらく交付金事業ということになるのかなと思います。
毛利委員	ぜひ実現していただかないと、何のために中瀬の話をしているのかわかりません。
清水委員	内海橋は水面から低いので、観光船が上流へ通るとなると低いのでは。 橋げたをあげなくてはならないのではないのでしょうか。
佐藤所長	新たな橋は、橋げたを堤防の高さでつくります。 4.5m の堤防ですので 4.5m。
毛利委員	歩道橋の場合はそうではないのですね。
佐藤所長	歩道橋をかけかえる場合も同じです。 堤防の高さが基準です。 でないとう堤防が切れて、そこだけ水が漏れて洪水になってしまいます。 ただ国道 398 号にも現況歩道はあって、災害復旧でも歩道はつけます。 中瀬にも歩道で降りられる構造になります。
門傳所長	上流側の橋を渡り、途中の T 字路で、中瀬のほうに降りて行くという構造です。

毛利委員	そこには歩道はつくのですか。
門傳所長	歩道つきで考えています。
邊見委員	<p>中瀬の位置付けがよくわからない。私にとっては石巻の歴史・文化を集約する様なうれしい集約の仕方であったと思うのですが。</p> <p>一つ中瀬の欠点を言っておきたいのですが。</p> <p>この島は、南北 650m、幅は平均で 80m、面積は 5ha くらい。</p> <p>橋は 1 本、道路は南北 1 本。</p> <p>非常に使い勝手の悪い島です。ここに石巻の歴史文化を全部盛り込むというのは、面積的に足りないと思います。</p> <p>文化センター1 つつくるのがぜひいいでしょう。</p> <p>中瀬のネックは、震災・津波を経験した私たちにとって、防災・安全面から立地として安心な島かというところではないことです。</p> <p>面積にも 5 ha という限界がある。道路事情が悪い。橋の事情も悪い。何を作るにしても建築コストが高い。</p> <p>ここに石巻の歴史文化を集約しと、私もいっしょに一番に挙げたい場所ですが、はたして位置として本当にいいのかよく検討しなくてはならない。</p> <p>石巻市は緑の足りない市である。今までまがいなりに、緑地があり憩いの場所、ということで年に 1 回の北上川フェアやメーデーのイベント会場として利用され、石巻らしい島としての位置づけをされた中瀬ですが、何もかも歴史文化をここにっこむというのは、物理的に無理があると思います。</p> <p>左岸側、右岸側で役割分担を考えないと、この島だけではつぶれてしまいます。</p>
亀山議長	<p>緑が少ないというのはその通りです。街中に緑が非常に少ないです。</p> <p>堤防の中の連続植栽などもぜひ考えていきたいと思っています。</p> <p>斎藤先生の言われた市民の方々の参加も、これをベースに、市民の方々の意見をお伺いしながら、しっかり詰めていきたい。</p> <p>以前は斎藤先生に町内会に入っていたいただいて、プロムナード計画の勉強会などをやりましたね。あのような形でぜひ、また企画をしていただきたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>次にその他ですが、皆様、オブザーバーの方々、ご意見ございますか。</p>
清水委員	<p>観光というのは非常に今、大事だと言われています。</p> <p>人口が 1 人減ると、それをカバーするために外国人の観光客が 7 人必要であると。</p> <p>国内で 1 泊の方なら 22 人きてもらえれば、人口減少をカバーできます。</p> <p>日帰りだと 77 人で、1 人の人口減がカバーできると試算されています。</p> <p>石巻の場合はどうか。</p> <p>プロムナード計画の中でも観光はひとつの目玉になっている。</p> <p>市民の利用が第一ですが、他から観光客を呼ぶときに一番問題となるのが、宿泊施設です。</p> <p>プロムナード計画ができて、市民も良かった、となって、では来てもらった方にど</p>



	<p>うするかという、実は泊まる場所が無いに等しいです。そうすると、どうしても日帰りになってしまいます。</p> <p>やはり、次のステップで是非、観光を頭の中に入れておいて頂きたい。</p> <p>例えばホテルや宿泊施設を誘致する。拠点 C や B に海に見えるホテルなど外資系も含め誘致する、または地元資本で作る。宿泊施設や施設をつくることも、最終的には考えていかないとまずいのではないかとこのように思います。</p>
亀山議長	<p>宿泊施設がほしいというのは、今の時点では、本当にそのような施設が不足しているので、県外から多くの工事関係者が石巻に入っているという状況で、交通渋滞を起こしているというのが現状です。</p> <p>それは大事な視点であると思います。</p> <p>それでは、その他、事務局からありましたらお願いします。</p>
事務局長	<p>特にはございません。</p>
亀山議長	<p>それでは、以上で本日の懇談会を終了いたします。</p> <p>お疲れ様でした。</p>
事務局長	<p>長時間にわたりありがとうございました。本日、みなさまからの意見を踏まえまして、また、懇談会としてのプロムナードの見直し案を次回、お示ししたいと思えます。さきほど、市民のみなさんの意見を伺うやり方を具体的に、ということなので、個別にご相談させてください。本日はありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>